

日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修レポート

広島大学教育学部

杉本 彩楓理

2019年8月

BUENVENIDO

メキシコに来ておよそ3週間が経とうとしています。高地のメキシコは日本よりも酸素が薄く、最初の頃な体が慣れずに呼吸が苦しかったのを覚えています。学校も始まり、メキシコでの生活にも慣れてきたら、日本とメキシコとの違いや共通点を生活の中で探して楽しむ余裕も出てきました。

こちらに来て一番衝撃を受けたのは、交通です。日本でも車は多く見られますが、メキシコは日本の比ではないほどの車社会。私が登校する朝8時には、出勤・通学のために道路が車で埋め尽くされています。一言で言うと、カオス。聞けば朝6時にはラッシュアワーは始まるそうです。また、一方通行の道が多く道を覚えなければ運転は難しそうです。

車だけではなく、メキシコの人々はバスや地下鉄をよく利用します。メ

キシコは交通費がとても安く、改札を出なければ大体一律5ペソ、6ペソでほとんどどこまでも行くことができます。(日本円にして大体30円程) 貧困層にも配慮してこの値段だそうです。ただ、安いのですがラッシュアワー時だけでなく、大体いつも満員電車状態です。そんな時は、リュックを自分の前にして守りながら乗車します。



学校には乗り合いのバスで通学しています。このバスは、停留所がないので、道に立って自分の乗りたいバスが通過するのを待たなければなりません。バスを降りるときも、降りたいという意思をしっかりと見せないで止まってくれません。最初はとても難しく、学校に行けるようになるまで多少苦労しました。



こちらは、かの有名な UNAM の図書館です。壁面が世界遺産に登録されています。学生数は 30 万人だそうです。

こちらにきてまだ 3 週間、これからもどんどんメキシコの魅力を探りながら、しっかり勉強したいと思います。